

困難を乗り越えた学生生活



物理を語る佐藤先生(渡邊撮影)

取材記者(以下、記)
「まず、高校時代の話を聞かせてください。所属していた部活動は何でしたか。」
先生「硬式テニス部です。」
記「苦手の教科、得意な教科は何でしたか。また、物理はその頃から得意だったか。」

先生「理系だったので、数学と化学はかなりできました。でも、英語は本当に苦手で、受験のときも苦戦しました。物理は得意でも苦手でもなかったです。」
記「高校生の頃、楽しかった思い出はありますか。」

先生「茨城県に来て、田舎だなと感じました。また友達100人できるか心配でした。そのせいで、ストレス性胃腸炎になりました。(笑)でも、実際に入学してみたら、1週間くらいで、仲良くなりました。」
記「それは大変でしたね。大学の授業で印象に残っていることは何ですか。」

先生「星の成り立ちとか動画を見たり、天文学の話の聞いたことあります。」
記「実験ではどんなことをしたのですか。」
先生「実験は地獄でした。(笑)測定回数が多くて時間がかるし、データの解析も大変でした。入学してすぐ実験があつて、いきなり辛かったです。」
記「なるほど。学園祭な

先生「茨城県に来て、田舎だなと感じました。また友達100人できるか心配でした。そのせいで、ストレス性胃腸炎になりました。(笑)でも、実際に入学してみたら、1週間くらいで、仲良くなりました。」
記「それは大変でしたね。大学の授業で印象に残っていることは何ですか。」

先生「星の成り立ちとか動画を見たり、天文学の話の聞いたことあります。」
記「実験ではどんなことをしたのですか。」
先生「実験は地獄でした。(笑)測定回数が多くて時間がかるし、データの解析も大変でした。入学してすぐ実験があつて、いきなり辛かったです。」
記「なるほど。学園祭な

先生「茨城県に来て、田舎だなと感じました。また友達100人できるか心配でした。そのせいで、ストレス性胃腸炎になりました。(笑)でも、実際に入学してみたら、1週間くらいで、仲良くなりました。」
記「それは大変でしたね。大学の授業で印象に残っていることは何ですか。」

先生「星の成り立ちとか動画を見たり、天文学の話の聞いたことあります。」
記「実験ではどんなことをしたのですか。」
先生「実験は地獄でした。(笑)測定回数が多くて時間がかるし、データの解析も大変でした。入学してすぐ実験があつて、いきなり辛かったです。」
記「なるほど。学園祭な

為 櫻 新 聞

2020年(令和2年)

2月28日

金曜日

発行所

茨城県立下妻第一高等学校新聞部

発行人 吉 田 俊 則

編集人 稲 葉 啓 斗

趣味のすゝめ

「読書」

私の趣味は読書である。そこで、私のお気に入りの本を1冊紹介したいと思う。「いなくなれ、群青」(河野裕著、新潮社、税込649円)という書籍を知っているだろうか。昨年映画化されたことでも話題な作品である。

物語の主人公は「七草」という高校1年生の青年。ある日、七草はふと気がつく。「階段島」という小さな島の海岸に立っていた。その後何となく階段島で生活していたが、突如「真辺」という同じ

「日記」日記とは日々の出来事や行事の感想などを1日毎に日付を添えて記録したもので、平安時代の作品で言う「和歌集」が有名だ。これは男性が性別を偽って仮名文字で記録を残したことでの後の日本文学に影響を与えた。

しかし現代の日記というものは日々進化しており、日記帳の使い方は様々だ。1日の思い出として写真をプリントしたものや、旅先で入手した観光地のパンフレットを切り取って貼る人がいる。またマスキングテープやお気に入りのシールを大胆に使用し、ページを華やかに彩る人も増加している。近頃は、手帳を上手く活用できる



「いなくなれ、群青」(館野撮影)

今回は、卒業を迎える3年生に向けた言葉を、授業を担当するなど3年生に深く関わった6名の先生方に書いてもらった。

付箋やバリエーションに優れたカラーペンなどが多く販売されていることもあり、老若男女問わずに「手帳ブーム」が日本中に広まっている。例で言うと「御朱印」を集める若者が急増していることだ。御朱印とは寺院や神社で参拝の証としてもらえる印状のことである。記者は小学6年生の修学旅行から御朱印集めをしており「御朱印ブーム」を感じていた。

贈る言葉

◆新井 裕明 先生(3年5組、6組、7組の地学研究を担当)

◆飯村 好和 先生(3年1組、2組の化学を担当)

◆倉持 毅 先生(3年6組、7組のコミュニケーション英語IIIを担当)

新天地に船出する皆さんへのメッセージをすでに3つ「為櫻」に書かせてもらいました。その3つ目に「たくさん読んで、よく考えよう」と書きました。これについては、書物を多く読むだけでなく、様々な情報に触れるということも含んでいます。国のトップに立つ人は「白」を「黒」と言って通すことができます。また頼みのマスメディアも何らかの理由で情報の選択をします。疑い深い必要がある必要はありますが、このような世の中だからこそできるだけ多様な情報に触れ、物事を多面的に捉え、何が正しいのかをしっかりと判断していきましょう。

◆世木田 和也先生(3年3組、4組の生物を担当)

他者に対して誠実であれば、周りはいつでも助けてくれます。逆もまた然り。よい人生を歩んでください。

◆中村 聡明 先生(現3年生が2年生であったときに2年3組、7組の数学を担当)

卒業おめでとう。卒業生にこの言葉を贈ろうと思います。

「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」

◆野尻 敦子 先生(現3年生が1年生であったときに全てのクラスで家庭基礎を担当)

夢に向かって頑張れ。みなさんの活躍を祈っています。